

令和元年 第2回定例会 決算特別委員会で質問

(会期9月19日～10月24日)



以下、竹平区議の主な質疑の内容を報告します。

外国人への情報提供について

Q 外国人への生活に必要な情報を集約した冊子の作成を。
A 冊子にこだわらず、スマホアプリの活用など、時代に即したものを必要性も踏まえて考えていく。

Q 区のホームページの更なる多言語化と「やさしい日本語」を取り入れては。
A ホームページは現在3カ国語で、それ以外の言語の追加についても、全庁的な取り組みと合わせながら検討していく。外国人向けページの作成を検討しており、「やさしい日本語」はそこに取り込んでいきたい。

防災備蓄について

Q 乳児用液体ミルクを区の災害備蓄品に。区民にも普及啓発を。
A 集中備蓄を引き続き研究していく。都の補助事業である液体ミルクの普及啓発事業については健康部とも連携しながら検討していく。



食品ロス削減について

Q 食品ロス削減の今後の取り組みは。
A 食べきり推進店を増やしていきたい。今年度は親子料理教室を開催するが、



来年度も新たな企画を考えている。さらに、フードバンクと協力して、集めた食品の提供等を図っていきたい。

がん検診・健診について

Q がん検診・健診の受診促進に向けた取り組みは。
A 若い世代の受診率を高めるのが課題であり、周知啓発に努め、無関心層へのアプローチなど、より効果的な方法を研究していく。現在、電子アプリの導入を進めている。子育て世代の親に健診の受診を促すことにも活用し、区民の健康づくりに寄与したい。



妊娠、出産、子育て 切れ目ない支援について

Q 里帰りの出産支援は。
A 妊婦全数面接で里帰りの予定を聞くので、今後電子手帳アプリ



を活用した定期的なメッセージの送付で、いつでも保健師が相談を受けることを更に周知できるようにしていきたい。

日本語教育について

Q 外国籍の児童生徒への日本語指導の実施場所や時間数の充実を。
A 日本語指導員の派遣については、各学校の状況を確認しながら、課題等について検証を行っている。時間数が適正かどうかも含め、今後研究していきたい。



修学援助について

Q 就学援助の準要保護の入学準備金の支給時期の更に前倒しできないか。
A 現在3月に前倒し支給しているが、事務的にスケジュールの短縮が図れるかも含め、他区の状況も鑑みながら検討していきたい。

